

- 第1回定例会  
議案の概要と審議結果……2面
- 区政のここを問う！  
定例会での代表・一般質問  
……3～5面
- 予算特別委員会を特集  
……6、7面
- 委員会の活動状況……8面
- 請願・陳情の審議結果……8面

# 新宿区議会だより

発行：新宿区議会

☎(3209)1111(代表) 〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号  
ホームページアドレス：http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html

No. 273

平成28年(2016年)4月25日発行



1月31日 新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン



2月26日～3月10日 予算特別委員会



2月26日～2月28日 染の小道 川のギャラリー  
(妙正寺川 寺齊橋・大正橋付近)

## トップニュース

平成28年度予算を可決

### 平成28年度予算 総額2,200億1,974万6千円を可決

平成28年度予算案は、基本方針を「不透明な財政環境の中、将来にわたり安定した財政基盤を確立し、新たな総合計画への橋渡しとなる第三次実行計画を着実に進め、持続的に発展し続ける新しい新宿のまちの創造に向け、確かな一歩を踏み出す予算」として編成され、区長より提案されました。

委員18名からなる予算特別委員会で平成28年度各会計の予算案を審査し、3月22日の本会議にて原案通り可決しました。

関連記事2、6、7面

第1回定例会で可決した主な議案

### 区長提出議案53件、議員提出議案3件、委員会提出議案1件を可決

- 公共の場所における客引き行為等の防止の取組みを強化するため過料処分等の新たな施策を導入
- 「新宿区子ども未来基金」を設置 (平成28年4月1日施行)
- 女性特有のがん検診・大腸がん検診を無料とする時限的な特別措置を継続 (平成28年4月1日施行)
- 平成27年度一般会計補正予算(第8号) 9億9,682万円  
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業に要する経費 8億8,874万4千円 など
- 「新宿区議会議員政治倫理条例」で定める審査請求の年齢要件を「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げ (平成28年6月19日施行)

関連記事2面

新宿区平和都市宣言30周年記念(新宿文化センター)



3月23日～3月27日 平和のパネル展



3月27日 平和のつどい 早稲田少年少女合唱団

都立戸山公園箱根山地区多目的運動広場(仮称)の整備についての意見書

戸山公園箱根山地区多目的運動広場整備を進めるにあたり、「現在の機能を保ちつつ、区民要望を最大限尊重し、より快適に、多目的・多目的に使用できる総合的な多目的運動場として整備する」、「整備計画の策定に際し、新宿区と調整を図る」ことを東京都に求めました。

児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

「児童虐待防止対策強化プロジェクト」実現のため、児童福祉法等改正案を国会に提出するとともに、「子育て世代包括支援センター」を法定化し、全国展開を図り、妊娠から子育て期までの切れ目ない支援を実現する、「児童相談所全国共通ダイヤル」「189」の更なる周知や通報しやすい体制を整える、「児童相談所を増設し、体制や専門性を強化する」、「児童相談所と学校や医療機関、警察等関係機関との緊密な連携体制を再構築する」、「一時保護所の環境改善や量的拡大を図る」、「被虐待児童が18歳を超えても引き続き自立支援を行い、施設退所後や里親委託後もアフターケア事業を全国で実施する」ことを国会及び政府に求めました。

意見書の全文は、区議会ホームページをご覧ください。ただ、議会事務局までご連絡ください。

### 今定例会で議決した意見書(要旨)

北朝鮮の核実験実施に対する抗議文を送付

新宿区議会は、北朝鮮が実施した4回目の核実験に對して、1月6日、北朝鮮の金正恩・国防委員会第一委員長に抗議文を送付し、すべての核兵器・核計画の即時放棄と北東アジアの安全と世界の恒久平和の実現を目指すことを強く要請しました。

議案の概要と審議結果(賛成…○、反対…×)

会派略称 自無ク=自由民主党・無所属クラブ 公明=新宿区議会公明党
共産=日本共産党新宿区議会議員団 民無ク=民主党・無所属クラブ
新宿会=新宿区民の会 社民=社民党新宿区議会議員団
スタ新=スタートアップ新宿

○平成28年第1回定例会(2月19日~3月22日)

Table with columns: 議案名, 概要, 自無ク, 公明, 共産, 民無ク, 新宿会, 社民, スタ新, 議決結果. Rows include budget items, ordinance amendments, and resolutions.

# 区政のこころを問う

## 「地域の足」の再検討を

民主党・無所属クラブ

代参質問



久保 広介

**質問** 区は、平成17年度に地域活性化バスの導入検討調査を行

い、翌年度には優先的に検討すべき地区とした四谷地区で地域住民等による検討会を開催した。当時は運行には至らなかったが、10年たった現在、区の人



交通弱者の生活の足となる地域バスの再検討を

**回答** 今後、地域住民から検討の場を設ける要望があった場合には、これまでの検討の経緯を丁寧

### 災害時の医療体制について

**質問** 昨年12月に津久戸小学校医療救護所訓練に参加し、日頃

からの各関係機関との連携による訓練の重要性を改めて感じた。災害時、区内10か所の医療救護所には帰宅困難者を含めた多くの負傷者が集まり、また避難生活が長期化した場合、持病がある方の常用薬の不足が想定される。医薬品の備蓄状況と不足時の補給体制は。

**回答** 各医療救護所で約500人分の医薬品等を備蓄している。東新宿保健センターには、新宿区薬剤師会との協定に基づき医薬品を備蓄している。さらに、卸売販売業者との協定で供給体制を構築している。今後も関係機関との連携を深め、医薬品の供給体制を確保していく。

## 子どもの居場所づくり

新宿区民の会

代参質問



のづ ケン

**質問** 働く母親や子どもをめぐる凶悪犯罪が増える中で、子どもの安全な居場所や学習支援が

求められる。学習クラブや放課後子どもひろばの取組みは。**回答** 学習習慣を身につけることは健全な成長に大切。個別の支援が必要な子どもには子ども総合センターの学習支援事業につなぐなどの対応を行っている。

### 健康施策

## 子どもの貧困対策

自由民主党・無所属クラブ

代参質問

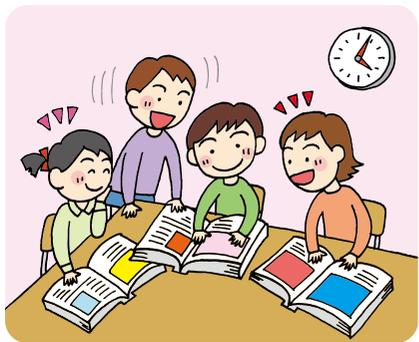


平間 しのぶ

**質問** 34か国が加盟する経済協力開発機構の子どもの貧困率ランキングでは、日本は11番目に

高い。子どもの健康や学力への影響が懸念される。子どもの貧困を解消していくには、様々な角度から効果・効率的な対策を実施し貧困の連鎖を断ち切っていくことが重要。①自治体により事情は異なる。食事、学習、進学等、区の実態把握を。②全国で「子ども食堂」が開設されているが、場所の確保やアレルギー対応等の課題も想定される。どのように認識しているのか。

**回答** ①庁内関係部署が連携



安全な子どもの居場所づくりを

**質問** 区の糖尿病対策を中心とした健康づくりの具体的内容は。

**回答** 健診結果と国保レセプトを活用して未治療者に電話・面談により受診勧奨等継続的に支援。



子どもの貧困対策の充実を

する「子どもの貧困対策検討連絡会議」で課題を整理し実態把握に取り組んでいる。数値として表れにくい食事の問題や子どもの心の問題については、貧困対策検討連絡会議での情報交換や学習支援に取り組みNPO等にヒヤリングを行い実態把握に努める。②子どもの栄養改善や学習意欲の向上効果に加え、安心で

きる居場所の提供という地域の支え合い活動としても大変有意義。活動場所として地域センターで行われている高齢者への食事サービス等も参考に、区有施設の活用について検討する。食物アレルギーの問題についても、先行事例の工夫を参考にし事故のないように注意喚起をする。

### 多文化共生施策

**質問** 区には現在約3万8千人の外国人が暮らし、区民の約11%を占める。国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的違いを認め理解しあい、安心して共に生活できる多文化共生のまちづくりを推進する必要がある。①効果的な施策の組み立てや新たな課題発見のために多文化共生実態調査を行ったが、区に望む災害対策として「避難場所の揭示等を多言語にする」が前回調査と同じく5割近くになっている。結果の受け止め方と対策は。②調査結果から施策のガイドラインやプランの策定など区全体としての方向性を示す考えは。

**回答** ①区内に設置している避難場所標識は平成17年以降、新設・改修する場合は日本語、英語、中国語、韓国語の4言語併記を原則とし多言語対応を積極的に推進してきた。今回の結果を踏まえ、ピクトグラムの活用等、より簡潔でわかりやすい標識となるように取り組む。②「新宿区多文化共生まちづくり会議」から多文化共生に関する指針や推進プランの策定について答申を受けている。既存事業を体系的に整理し実態調査の結果を踏まえ、東京都多文化共生

推進指針も視野に、多文化共生施策のプランについて検討する。

### 英語教育とICT教育

**質問** グローバル化が進む中、現状の日本経済はICTを成長のエンジンとする経済社会に移行せざるを得ず、ICTを柔軟に使いこなす、活用感度のよい人材育成が不可欠であり、ICT教育にさらに力を注ぐ必要がある。区におけるICT教育の整備と機器等の活用、狙いと現実とのギャップは。

**回答** パソコンの配備台数や校内LANの整備率等は既に国の目標水準を達成している。授業でICT機器を日常的に活用する教職員は小・中学校とも9割を超えているが、「わかる授業の展開」「情報教育の推進」をさらに進める必要があるため、タブレット端末の導入等を視野に入れた、最新のネットワークシステム及びICT機器を平成29年度に再構築する予定。ICT機器のスキル向上のため、教職員への研修を充実させICT環境をより効果的に活用した授業展開の実現に努める。

### 東京オリンピック・ピック・パラリンピックに関連して

**質問** 戸山公園箱根山地区多目的運動場は多くの区民が利用しているが、今後さらに整備すればより多くの区民と多種類のスポーツの利用が可能になる。東京オリンピック・パラリンピックが4年後に迫り、総合運動場の整備実現に向けての区民の声が更に大きくなることから、東京都に区民の要望をしっかりと届け、早期実現に向けて強く働きかける必要がある。利用状況と

※【ピクトグラム】 絵文字、絵単語などと呼ばれる視覚記号の一つ。

整備後の区民利用の見通しは。  
**答弁** 平成25年度の利用率が63.2%、26年度が58.9%、27年度は1月末現在で67.8%。主な利用種目は小学生サッカー、小学生野球、グランドゴルフの順。現在

安心して子育て環境の整備を

新宿区議会六公明党

代表質問



野もとあきとし

**質問** ①幼児教育の段階的な無償化について、平成28年度からの具体的な取組みは。②私立幼稚園等への支援拡充を。③要支援家庭を対象としたシヨートステイ事業やトワイライトステイ事業の取組みと認識は。④「(仮称)しんじゅく平日夜間こども診療室」について周知を。⑤ひとり親家庭への支援策として情報冊子の作成を。

**答弁** ①区では、私立幼稚園保護者への補助金制度を充実させ、現在、年収約360万円未満の世帯の第2子、第3子に加え第1子から保育料無償を実現。28年度から区独自の取組みで、多子計算の対象となるこどもの年齢制限の撤廃に関し、世帯年収を国基準の約360万円未満から約600万円未満まで引き上げる。またひとり親世帯等についても、同じく年収約600万円未満の世帯まで、第1子半額、第2子以降を無償とする。区立幼稚園入園料・保育料も同様に取り組み。②教職員研修事業補助金を拡充し、健康管理補助金と安全安心補助金制度を新設する。③子どもシヨートステイ事業を拡充し、要支援



幼児教育無償化の推進を

の機能を保ち、より快適に使用できる総合的な多目的運動広場として拡大整備されることになれば、中学生以上の野球やサッカーもできる可能性もあり更に利用率が高まると考えている。

家庭の就学前の子どもの対象に生活指導や保護者への助言等を行う。小学生までを対象に夜間の食事や入浴等の生活全般を支援するトワイライトステイ事業を新たに実施する。④月曜から金曜日の19時から22時まで、国立国際医療研究センター病院内で、小児平日夜間診療事業を実施予定。医師会区民健康センターの休日診療とともに丁寧な周知を行う。⑤支援策や制度を一つにまとめた「(仮称)ひとり親家庭支援ガイド」を作成する。

女性の活躍

**質問** 女性の職場における活躍を推進する「女性活躍推進法」が28年4月1日から施行される。生涯にわたる女性の健康づくりを支援することこそが、区の最重要テーマと位置づけ、わが会派も推進してきた。①女性

の健康支援センターについて、(ア)気軽に美容や健康チェックができる事を周知すべき。(イ)働く女性が利用しやすいよう、時間の延長や土曜、日曜日の利用の検討を。(ウ)女性のための健康手帳をさらに活用しやすい内容へ。②女性特有のがん検診の推進について、(ア)医師会区民健康センターをはじめ、土日に受診できる医療機関を周知し、がん検診の推進を。(イ)28年度も子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券の配布による啓発を。

の健康支援センターについて、(ア)気軽に美容や健康チェックができる事を周知すべき。(イ)働く女性が利用しやすいよう、時間の延長や土曜、日曜日の利用の検討を。(ウ)女性のための健康手帳をさらに活用しやすい内容へ。②女性特有のがん検診の推進について、(ア)医師会区民健康センターをはじめ、土日に受診できる医療機関を周知し、がん検診の推進を。(イ)28年度も子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券の配布による啓発を。

**答弁** ①(ア)健康セミナーのプログラムに測定コーナー利用を組み込む。(イ)アンケート等でニーズを把握し検討。(ウ)より多くの方に効果的に活用される手帳及びリーフレットを作成していく。②(ア)がん検診案内冊子や区HPの内容を充実させ休日等に受診可能な医療機関を周知する。(イ)配布とともに未受診者へ再勧奨し受診率向上に努める。

高齢者介護施設の整備

**質問** 平成28年度は西落合有地を活用した認知症高齢者グループホーム等の開設、29年度には中央図書館跡地や旧戸山第三保育園を活用した小規模多機能型居宅介護施設の整備予定である。①今後の高齢者介護施設の整備にあたり、公有地活用への考えは。②富久町国有地の整備についての考えは。

**答弁** ①国の初期投資負担軽減策の活用等、国や都と十分な連携を図る。②平成27年から37年までに、特別養護老人ホームの入所要件である要介護3以上の方は1371人増加する予測。在宅生

活が困難な方の生活を支える特養が更に必要であり、富久町国有地での整備を進める。

高度防災都市化の早期実現を

**質問** 首都直下地震の対策として、女性の視点を生かした避難所開設訓練や福祉避難所の推進等にわが会派も取り組んできた。①耐震診断の実施後、住宅を耐震化する方に、転居助成のような支援拡充を。②震災時の電気機器や配線による火災を防止するため、感震ブレーカーの助成等の支援を行うべき。

**答弁** ①耐震化に伴う一時転居への助成について、国や都の支援動向を注視する。②内閣府のモデル事業の検討結果や他自治体の動向などを注視し、普及や助成等の支援を検討する。

スポーツ施策について

**質問** ①昨年10月に国のスポーツ庁が発足した。設置予定の区のスポーツ担当部署の役割と施策の推進は。②総合運動場整備の現状と都への働きかけは。③障がい者の運動機能の維持・向上には、陸上より負担の少ないプールを活用することが有効。支援については。

**答弁** ①28年度から生涯学習スポーツ課を設置する。庁内の地域振興、公園管理、社会福祉・健康増進等の担当部署と緊密に連携し、総合的・一体的な取組みを図る。②都が国から用地取得する契約をしたことを受け、区は本年2月に検討委員会を立ち上げた。区民ニーズを踏まえ都へ迅速に働きかける。③プール施設利用時の減免制度を含め料金設定を積極的に検討する。

子どもの貧困・待機児童対策など、区民生活応援の区政を

日本共産党新宿区議会議員団

代表質問



沢田あゆみ

**質問** 区長の基本方針説明では、区民のくらしや消費の実態には一切触れていない。①格差と貧困の拡大を感じているか。②実体経済の低迷は消費税増税が影響しているという指摘があり、10%への増税に反対すべき。③新宿駅とその周辺の整備費は、国や都、または利益を得る事業者が負担すべきでは。

**答弁** ①生活保護受給世帯は増加傾向。生保受給者や生活困窮者の自立支援を実施し、格差と貧困の解消とともに、子どもの貧困対策にも取り組んでいく。②国民が安心して、希望が持てる社会保障の実現には段階的に税率を引き上げる必要があると考えるが、低所得者への支援など、特別区長会を通じて国へ要望する。③賑わいのある良質な都市空間を創出することで、新宿のまちの魅力やポテンシャルがさらに向上する。国、都及び関係事業者と連携し、役割に応じた適切な負担のもと整備を進める。

子どもの貧困対策の充実を

**質問** 子どもの貧困対策に一步踏み出す予算計上を評価。更に充実の必要がある。①子ども食堂等を行う団体に、地域

センター、区立住宅の集会所等の貸し出しを。②新宿区奨学金の対象人数・支給額を増やし、貸付型から給付型へ移行を。③生活保護世帯にも都の「受験生チャレンジ支援貸付事業」と同等に支援するよう要望し、都がやらない場合、区が独自に補助すべきでは。

**答弁** ①現行サービスを参考に検討する。②現時点では給付型にする考えはないが、要件や貸付額など検討しながら就学を支援する。③都には引き続き要望する。生活保護世帯には、小学4年生から塾代の補助を行っており、独自補助は考えていない。



奨学金制度を充実し、明るい未来を

待機児童ゼロの目標への対策

**質問** ①2月17日付けで不承諾通知が424名に送られた。待機児童ゼロにするため、さらなる対策を。②保育園の園庭を設置できる土地を確保する努力をすべき。③区全域で公園内の保育所設置を検討してはどうか。④「保育従事職員宿舎借り上げ支援事業」が十分活

活用できる。⑤「保育従事職員宿舎借り上げ支援事業」が十分活用できる。⑥「保育従事職員宿舎借り上げ支援事業」が十分活用できる。⑦「保育従事職員宿舎借り上げ支援事業」が十分活用できる。⑧「保育従事職員宿舎借り上げ支援事業」が十分活用できる。⑨「保育従事職員宿舎借り上げ支援事業」が十分活用できる。⑩「保育従事職員宿舎借り上げ支援事業」が十分活用できる。

用されていない。補助要件を緩和すべきでは。

**答弁** ①「子ども・子育て支援計画」の保育需要見込みを勘案し、必要があれば、さらなる保育定員の確保を検討する。②公有地・民有地を問わず情報収集に努めていく。③公園には地域での役割と存在意義があり、公園内の保育施設設置は、特段の事情がある場合に限られるが、状況の変化には柔軟に対応する。④都の

基準より拡大して実施しており、見直す考えはない。

**高すぎる国民健康保険料**

**質問** 国保料は一人あたり4850円の大増値となる。①国庫負担を増額するよう国に要求すべき。②広域化へ向けた先取りの保険料値上げはやめるべき。

**答弁** ①引き続き要望する。②段階的に、算定方法を基準政令に近づけているが、低所得者の方への影響を十分考慮していく。

**テクノロジーを導入し区民参加型のまちへ**

スタートアップ新宿

代参質問



伊藤 陽平

**質問** ITなどの技術を活用し、社会的課題を解決するシビックテックに取り組む意向は。

**答弁** オープンデータを推進することで「地域課題を区民参加と協働により解決できる仕組みのシビックテックの活発化」や「地域経済の活性化」が期待できる。オープンデータの公開は、区としての方針を明確化させ、全庁的な体制で取り組んでいく。



テクノロジーを活用してまちづくり

**質問** PTAが会計処理にマイナンバーを扱う場合の手続きなど、教育委員会でも支援が必要では。

**答弁** 講師謝礼の支出など、これまでと異なる手続きも予想される。きめ細かな相談に努める。

**いのちを守る防災対策について**

社民党新宿区議会議員団

代参質問



かわの 達男

**質問** 東日本大震災から5年。

被災地では未だ多くの人が仮設住宅で生活している中、首都直下地震の発生が懸念されている。①啓発冊子「東京防災」や「災害

に備えて」の普及方法と区民意識の高め方は。②逃げないですむまちは、マンションが被災してもそこで生活できることだが、その対策は。③木造、非木造の耐震化支援事業の計画は。

**答弁** ①防災講話や防災訓練時のミニ講話等で、啓発冊子を教材に防災意識を高める。②自主防災組織の結成支援やマンション防災の懇談会等を開催する。③木造では「耐震モデル地区事

業」の対象を拡大し、非木造では「マンション啓発隊」を行う。



災害から身を守るための備えを

**一般質問**



民無ク 小野 裕次郎

**不妊治療助成について**

**質問** 体外受精等の特定不妊治療にかかる費用は、医療保険の対象外であり、複数の区市町村が都の費用助成制度に加えた独

自の助成を行っている。新宿区には助成制度がないが、支援の拡大が必要では。



新宿会 ふじ川 たかし

**ヘイトスピーチ抑止条例制定を**

**質問** 大阪市のヘイトスピーチへの対処に関する条例では、被害者の申し出により審査会が調査し認定した場合、団体名の公

表や罰則規定を盛り込み、再発に関し抑止力を有しており、条例の制定は効果があると考えられるが、区長の考えは如何か。



自無ク 吉住 はるお

**将来人口推計と人口ビジョン**

**質問** 区の人口増加が非常に流動性の高い、入れ替わりの激しい若年人口に支えられるとすれば、地域コミュニティの形成を

困難にし町会やボランティア活動の停滞が懸念される。所見は。



共産 近藤 なつ子

**井天町コーポラスへの移転**

**質問** 区営住宅の建替えによる移転が完了したが、問題があった。①なぜ入居前に一度も内覧をさせなかったのか。②実質「最

低居住面積水準」未満となる2Kの部屋に、なぜ3人、4人世帯を入居させたのか。



民無ク 三雲 崇正

**子ども食堂について**

**質問** 子ども食堂は、子どもの貧困対策だけでなく、地域の大人とのふれあいや学びの場にもなる。運営団体には「子ども未

来基金」の金銭的な助成にとどまらない支援が重要。区有施設を活用し、活動場所の提供を。



新宿会 えのき 秀隆

**災害時の情報通信のあり方**

**質問** 減災社会の構築のため情報通信ツールの活用が重要。①東日本大震災時にSNSが有効な情報手段となったが区の取組みは。

②災害時情報弱者に対し適切に伝達する仕組みを整備すべき。



自無ク 桑原 羊平

**歩きスマホと情報モラル教育**

**質問** 観光客の増加やマンション建設等により、人通りが多くなり更に混雑が予想される道や場所がある。道の拡幅が困難な

中、歩きスマホに対するマナー啓発が必要。区の認識と対応は。



共産 川村 のりあき

**羽田空港の機能強化に伴う飛行経路変更計画について**

**質問** 国は新宿上空を飛行経路とする計画を提示した。学校など、区民への騒音被害が懸念さ

れる。①住民生活への影響に対する考えは。②区民の安全を守るため、中止を申し入れるべき。

※【ハッシュタグ】 ツイッターにおいてツイート検索時のタグとして用いられる、ハッシュマーク (#) が付いたキーワードのこと。

# 各会派の意見

## 区民一人ひとりが、安心して豊かに暮らせる新宿の実現と的確な課題への取り組みを評価

自由民主党・無所属クラブ

平成28年度一般会計及び3特別会計について、いずれも原案通り賛成しました。一般会計の規模は、1,454億円で前年度当初予算と比べて、25億円、1.7%の増で、歳入では特別区税が11億円(2.7%)の増、地方消費税交付金が6億円(5.1%)の増となり、一方、歳出は、扶助費が保育委託費や障害者自立支援給付費等の増により、15億円(3.3%)増となるなど、増加傾向で推移する社会保障関連経費による財政運営への影響を懸念します。

新宿の実現に向けた取組みに重点的に予算が配分されています。28年度の新規事業としては、7月から「(仮称)しんじゅく平日夜間こども診療室」を開設、医療・介護・福祉の専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」の設置、西落合有地を活用した小規模多機能型居宅介護や認知症高齢者グループホーム、ショートステイの機能を併設する施設の開設、子育て家庭の福祉の向上を図り、子どもたちの生きる力を育むため、「新宿区子ども未来基金」を創設し、未来を担う子どもへの育ちを支援する区民等の自主的な活動に対し助成、木造住宅密集地域における不燃化建替えの助成、更には、商店会、商店主向けの情報紙の発行などの事業があります。

## 予算特別委員会概要

2月25日の本会議で、平成28年度一般会計及び特別会計(3会計)の予算案の審査を行うため、委員18名で構成する「予算特別委員会」を設置しました。

「予算特別委員会」では、2月26日から3月10日までの10日間にわたり、予算案に対し、区長の区政に対する基本方針をはじめ、行財政全般について審査しました。

3月10日には、各会派の賛成・反対の討論を行い、採決の結果、4会計とも賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

この委員会決定について、5名の委員から少数意見を留保する旨の申し出がありました。

また、2名の委員から一般会計予算の修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

## 区民生活を守り、高齢者、障がい者、子育て家庭などへの支援充実を評価

新宿区議会 公明党

平成28年度一般会計予算は「暮らしやすさ1番の新宿」や「新宿の高度防災都市化と安全安心の強化」、「賑わい都市・新宿の創造」などの基本政策に取り組み、誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現、災害に強いまちづくり、新宿のまちの魅力向上と賑わいの創造などに重点的な予算を配分されています。また、良質な区民サービスを提供し、将来にわたる安定した財政基盤を確立するために、区税等の増収対策や内部管理経費の削減、公共サービスのあり方の見直しや定員適正化など

に努められています。公明党は区民の暮らしを支えるセーフティネットの充実、高齢者、障がい者、子育て家庭への支援などを訴え続け、平成28年度予算要望を行ってまいりました。これらの公明党の主張・要望が平成28年度予算の中に区の基本的な姿勢として位置づけられ、女性の視点を生かした防災対策の推進や福祉避難所の整備、地域包括ケアシステムの構築、待機児童解消策などが図られていることを評価し、各特別会計についても区民の生活を守り支えるための制度維持を確立する取り組みが見られることから、予算に賛成しました。今後は、社会経済情勢の変化に的確に対応し、次の世代が夢と希望を持ち、持続的に発展し続ける新しい新宿を構築するために、行政改革にさらに取り組まれることを強く望みます。

## 2016年度一般会計1,453億円 区政史上最大の予算! いまこそ区民生活の改善を!

日本共産党新宿区議会議員団

日本共産党区議団は、2016年度新宿区一般会計予算ほか3特別会計予算には反対し、一般会計予算に対する修正案については賛成しました。日本共産党区議団は、区内で活動する団体・個人との懇談や、区政アンケートに寄せられた意見や要望を踏まえ、「2016年度予算編成に対する要求書」を作成し、重点39項目を含む計427項目の要望を、昨年10月、吉住区長に提出いたしました。

2016年度予算において、私立認可保育園新設を含む待機児童解消対策、子どもへの貧困対策の取り組み、区立幼稚園での預かり保育の実施、国有地を活用した特別養護老人ホーム整備、紙おむつの支給対象拡大、福祉避難所の充実と体制強化等々、区民の要望が取り入れられた部分については評価いたします。

一方、区民生活を守る立場から第1号議案に対する修正案は、島田育英基金の支給額と対象人数の拡充、スクールソーシャルワーカーの増員、メガネ購入費を就学援助項目に加えるという子どもの貧困対策、介護施設の人材確保や紙おむつの支給額を維持する高齢者福祉の増進、木造住宅の耐震化支援の充実など10事業を実施するための予算です。これらは現在の区の財政力からして十分に対応可能な内容です。今後も区民のみならずから寄せられた要望の実現へ力を尽くしていきます。

## 新宿区議会 ホームページもご覧ください

区議会のインターネット中継(生中継・録画)、会議録の検索のほか、議会の予定や、議員の名簿、請願・陳情、決議、意見書の全文などもご覧いただくことができます。



▲インターネット中継(生中継・録画中継)



▲新宿区議会 会議録の検索

平成28年度予算

予算特別委員会

予算審査における主な質疑

- 子育て支援と子どもの貧困について
- 介護離職ゼロを目指す環境づくりについて
- 健康マイレージとがん教育の推進について
- 幼児教育無償化へ多子世帯やひとり親世帯の保育料の負担軽減について
- 奨学資金やスクールソーシャルワーカー等、子どもの貧困対策について
- 高齢者の住宅確保に対する支援について
- 子どもの居場所づくりに対する区の支援について
- 妊娠期からの子育て支援策について
- 子どもの学力向上について
- 災害に強い都市基盤整備について
- 財政調整制度と財源確保について



阿部 早苗 副委員長 ひやま 真一 委員長 井下田 栄一 副委員長

増加する税収を震災対策や子育て支援福祉の充実にあて区民のくらしを守る！

社民党新宿区議会議員団

東日本大震災から5年が経過し、首都直下地震も切迫しています。いのちを守る震災対策は待ったなしです。家具の転倒防止や建物の耐震補強、がけの改修など早急に整備することが求められます。

新宿区財政は、順調に改善しています。しかし国は一方的に住民税の一部を取り上げています。ふるさと納税の減収と合わせ、区民のくらしを支えるためにも区の財源確保は今後も大きな課題です。

新宿区独自の学力テストは実施時期など問題があります。

区民のくらしと生命を優先する区政の実現を今後も目指します。

震災の記憶を風化させない強いメッセージを！本区の魅力をさらに高める取り組みに期待！

民主党・無所属クラブ

東日本大震災から5年、阪神淡路大震災から21年が経過しました。この二つの大震災から本区も多くの教訓を得て、28年度予算でも先行きが不透明な財政環境の中、建築物等の耐震化、帰宅困難者対策、木造住宅密集地域の解消など、区民の生命と財産を守るための取り組みを行い、予想される首都直下地震に備える姿勢が感じ取れます。

こうした中で、ともすれば月日の経過とともに災害に対する区民の意識が薄らいでしまうことが懸念されます。今後の危機管理の上

から何としても震災の記憶を風化させたいと思いません。自然災害は日本において生きていく限り、避けては通れない宿命であり、一人一人がそのことを「日常」のこととして考えなければなりません。今一度、区民に向けて災害に対する意識の醸成に強いメッセージを発していただきたいと思えます。

この他、子供の貧困対策や待機児童解消緊急対策、地域包括ケアシステムの構築など、区民生活に直接影響を与える課題に的確に臨む予算となっています。

今後、4年後に迫ったオリンピック・パラリンピック開催に向け、本区に住む人にとっても訪れる人にとっても、本区の魅力をさらに高めることが出来るよう、多文化共生のまちづくりや、区内の回遊性の確保などの課題により一層力を尽くしていただくことを要望し、すべての予算案に賛成致します。

社会経済動向を的確に捉え、諸課題に対応し、財政運営にも考慮した予算であると評価

新宿区民の会

我々新宿区民の会は、政治理念として「自立する個人、自立する自治体、自立する国家の実現」との考えを基に活動しています。今回の予算審議にあたりましては、都区制度の改革、地方主権、既得権と戦う成長戦略、小さな行政機構の実現、受益と負担の公平、現役世代の活性化、機会平等などの考え方を念頭に施策の確認をさせていただきました。

さて、現下の経済情勢については経済のグローバル化によって日本単独で物事を語ることはできません。原油価格、株式、債券市場

のボラテリティーが高い中、欧州の金融機関の経営不安や中国経済の失速などのリスク要因も浮上してきました。世界経済の減速懸念が高まっているという意見もあり、注意が必要です。

区は予算概要で「社会経済情勢の動向を的確に見極めながら、区民生活に影響を与える課題に重点的に財源を配分し、解決に向け確実に取り組むこと」と説明しています。

今回提案された28年度予算案については、第三次実行計画初年度予算となります。また、28年度は30年度から始まる新総合計画へのステップとなる時期です。

審議させていただいた結果、社会経済の動向を的確に捉え、区民生活が直面する諸課題に積極的に対応し、一方、将来的な財政運営も考慮した予算案であると評価し、すべての議案に賛成を致しました。

平成28年度 各会計予算総括表

会計別	平成28年度	平成27年度	差引額	増減率
一般会計	1,453億8,510万7千円	1,429億1,071万2千円 (1,435億8,326万5千円)	24億7,439万5千円 (18億 184万2千円)	1.7% (1.3%)
国民健康保険特別会計	437億7,112万6千円	429億8,524万7千円 (427億7,171万4千円)	7億8,587万9千円 (9億9,941万2千円)	1.8% (2.3%)
介護保険特別会計	241億 795万4千円	233億8,148万2千円 (227億8,741万1千円)	7億2,647万2千円 (13億2,054万3千円)	3.1% (5.8%)
後期高齢者医療特別会計	67億5,555万9千円	66億8,750万4千円 (66億8,662万円)	6,805万5千円 (6,893万9千円)	1.0% (1.0%)
合計	2,200億1,974万6千円	2,159億6,494万5千円 (2,158億2,901万円)	40億5,480万1千円 (41億9,073万6千円)	1.9% (1.9%)

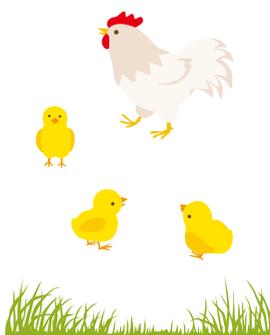
( )は平成27年3月補正後の予算額

『新宿区議会だより』点字版・音声版のお知らせ

点字版・音声版(カセットテープ版・CD版・DAISY版)を作成し、ご希望の方にお届けしています。新たにご希望の方はご連絡ください。

※DAISY版の再生には、専用の再生機やソフトウェアが必要です。

TEL 5273-3534  
FAX 3209-9995



平成28年 第2回 定例会のお知らせ

★6月9日から6月20日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

**本会議** 6月9日(木)(代表質問等) 午前10時から  
6月10日(金)(代表質問・一般質問、議案の提案説明等) 午前10時から  
6月20日(月)(議案、意見書・決議の採決等) 午後2時から

**常任委員会** 6月13日(月)・14日(火) 午前10時から

**特別委員会** 6月15日(水)・16日(木) 午前10時から

★ぜひ傍聴にいらしてください。(区役所5階)

★手話通訳者または要約筆記者の配置もできます。事前に議会事務局(TEL:5273-3534、FAX:3209-9995)までご連絡ください。

★本会議は、「新宿区議会ホームページ」でインターネット中継(生中継・録画)を実施しています。ぜひご利用ください。



# 委員会の動き

## 一般会計補正予算(臨時福祉給付金等)などの議案を審査

### 総務区民委員会

●今定例会では、区長提出議案9件と補正予算5件、新規付託の陳情6件を審査し、13件の報告を受け質疑を行いました。

●区長提出議案の「職員定数条例の一部を改正する条例」では、保育士等40名の増員となっています。この議案を含む9件の議案は全員賛成で可決しました。

●補正予算第8号は、年金生活者等支援臨時福祉給付金(給付金額は一人につき3万円、対象人数は約2万5900人)7億7700万円等を先議し、第9号など計5件の補正予算を全員賛成で可決しました。

●陳情は、6件のうち5件を不採択、1件を審査未了としました。

●平成28年度組織改正について「など13件の報告を受け、質疑を行いました。

## 重症心身障害児等の支援充実や障害を理由とする差別解消の推進などを質疑

### 福祉健康委員会

●今定例会では、一般会計や特別会計の補正予算を含む区長提出議案11件の審査を行い、「新宿区一般事務手数料条例の一部を改正する条例」、「新宿区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」など10件は全員賛成で可決し、「新宿区国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、賛成多数で可決しました。

●議員提出議案の3件は賛

## 道路占用料等徴収に関する条例の一部改正などの議案を審査

### 環境建設委員会

●今定例会では、議案12件と報告1件を受け、質疑を行いました。陳情3件を審査しました。

●「道路占用料等徴収に関する条例の一部を改正する条例」など11件の議案について、全員賛成で可決しました。

●「自転車等の適正利用の推進及び自転車等駐輪場の整備に関する条例の一部を改正する条例」は賛否が分かれ、賛成多数で可決しました。

●継続審査中の「榎町地域

のシンボル・弁天町の巨樹エノキの保存を求める陳情」など3件の陳情は引き続き継続審査としました。

●4月の開業に先立ち、新宿駅東南口自転車駐輪場と、新宿南口交通ターミナル(バスタ新宿)を3月23日に視察し、担当者から施設概要や開業後の利用見込について説明を受け、質疑を行いました。

## 子ども未来基金条例など

### 文教子ども家庭委員会

●今定例会では、追加議案2件を含む14件の議案と新たに付託された陳情3件を審査し、8件の報告を受け質疑を行いました。

●子どもの貧困対策として全国で取り組まれている子ども食堂や居場所づくりの活動を行う団体等を支援するための「子ども未来基金条例」の制定と、幼稚園・保育園等の多子世帯・ひとり親世帯への負担軽減のため

●今定例会では、追加議案2件を含む14件の議案と新たに付託された陳情3件を審査し、8件の報告を受け質疑を行いました。

●子どもの貧困対策として全国で取り組まれている子ども食堂や居場所づくりの活動を行う団体等を支援するための「子ども未来基金条例」の制定と、幼稚園・保育園等の多子世帯・ひとり親世帯への負担軽減のため

## 公共の場所における容引き行為等の防止に関する条例の一部改正などの議案を審査

### 防災等安全対策特別委員会

●今定例会では、議案2件、継続中の陳情1件を審査しました。

●付託された「新宿区公共の場所における容引き行為等の防止に関する条例」の一部を改正する条例は、全員賛成で可決しました。

●本改正は事業主も含め警告・勧告・立入調査もでき、正当な理由なく勧告に従わない場合は公表することができ、5万円以下の過料を科すことができます。

## 都区財政調整方針、内部評価と外部評価を踏まえた区の取組について

### 自治・議会・行財政改革等特別委員会

●今定例会では、①平成28年度都区財政調整方針について、②「内部評価と外部評価を踏まえた区の取組」について、③「議会フロアWi-Fi整備見直し」について、を議題としました。

●平成28年度都区財政調整方針については、東京都との協議の透明化、配分のあり方、区民と一体になった取組について意見が出されました。②「内部評価と外部評価を踏まえた区の取組」については、外部委員

## 新国立競技場の建設計画の勉強会を実施

### オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会

●今定例会では、補正予算1件を審査し、2件の報告を受け、質疑を行いました。

●夏目漱石記念施設整備基金への積立等を計上した補正予算は全員賛成で可決しました。

●地域飲食応援事業の実施結果の報告を受け、地域飲食券の販売状況や導入効果等について質疑を行いました。

●1月26日に新国立競技場建設計画について勉強会を

## 皆様から託された

# 請願・陳情の審議結果

請願・陳情の内容は区議会ホームページをご覧ください。詳しくは、議会事務局までご連絡ください。

「」は審査を行った委員会名

## 不採択 9件

- 区庁舎及び議場における区旗、都旗及び国旗の総ての掲揚等を求めることに関する陳情「総務区民委員会」
- 新宿区職員執務室の個室等の除去を求めることに関する陳情「総務区民委員会」
- 新宿区職員採用試験等の制度改革に関する陳情「総務区民委員会」
- 新宿区議会議員及び新宿区職員による動物殺処分施設の視察を求める陳情「総務区民委員会」
- 未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情「総務区民委員会」
- 障がい表記へ改めることを求める陳情「福祉健康委員会」
- 保健所等における動物の殺処分に係る施設見学を義務教育課程に含むことを求めることに関する陳情「文教子ども家庭委員会」
- 義務教育課程における平和教育に係る課題図書に関する陳情「文教子ども家庭委員会」
- 消滅の危機に瀕する言語の保全及び継承を求めることに関する陳情「文教子ども家庭委員会」

## 継続審査 2件(新たに提出されたもの)

- 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及び危険性や予後の相談可能な窓口などの設置に関する意見書の提出を求める陳情「福祉健康委員会」
- 中井2丁目5階建てワンルーム・マンション建設に関する陳情「環境建設委員会」

## 審査未了 3件

- 朝鮮民主主義人民共和国への批難激化を見据えた在日朝鮮人の人権擁護の強化を求める陳情「総務区民委員会」
- 国及び都に動物の殺処分を禁止することを求める意見書の提出に関する陳情「福祉健康委員会」
- 高すぎる国保料の引き下げを求める陳情「福祉健康委員会」

## 会派名変更

「日本を元気にする会新宿」は、1月14日付で「スタートアップ新宿」に名称変更しました。

## あとがき

平成28年第1回定例会で行われた予算特別委員会の記事を中心とまとめた議会だよりをお届けします。

本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

編集委員  
下村治生  
有馬たけし  
池田あつし  
豊島あつし  
川村のりあき  
三雲崇正  
ふじ川たかし